日経新聞静岡版（2009 年 5 月 12 日付掲載記事）

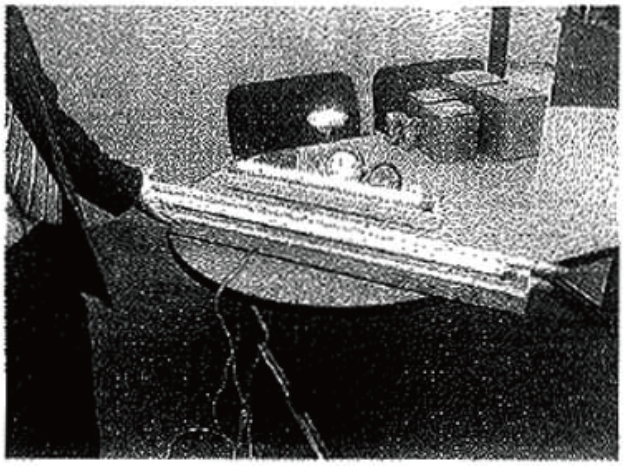
2009年（平成21年）5月12日（火曜日）

いちまる、販売に参入

グループ会社を活用

LED照明と太陽光発電

加工食品製造などを手がける、いちまる（静岡県焼津市、松村友吉社長）は五月中に発光ダイオード（LED）照明と太陽光発電システムの販売に参入する。グループ会社を活用し、需要が高まる新エネルギー分野の需要を掘り起こす。二〇〇九年度に合計三億円を売り上げ、将来の収益の柱に育てる考え。



いちまるが販売するLED照明機器（電球タイプと蛍光灯タイプ）

グループ会社のグローバルコム（東京・品川）がLED照明の製品開発と、静岡県内と首都圏などでの販売を受け持つ。開発には台湾メーカーの技術協力を受けた。

まず電球型の三機種（三・二ワット、九ワット、十一ワット）を発売。六月には蛍光灯型の三機種（蛍光灯の二十ワット、四十ワット、百十ワットに相当）の販売も始める予定だ。

同タイプの白熱灯や蛍光灯に比べ価格は高いが、寿命が十倍程度と長く、消費電力も抑えられるという。「スーパーやオフィスなどに、コスト削減につながると提案していく」（松村社長）。

太陽光発電システムはシャープの特約店として販売する。太陽光発電を自宅に設置する際の国の補助制度が手厚くなったのを追い風に、地元工務店などと組み拡販する。

当面四十軒への導入を目指す。グループ会社に住宅リフォームを手掛ける住まいの富士屋（焼津市）があり、同社との協業も視野に入れる。

いちまるは一九四八年設立で、漁業を基盤に食品製造、石油類販売、スーパー経営などと多角化し、〇九年三月期の売上高は約九十億円。新しい事業を展開するため、このほど社内に「新エネルギー部」を設置した。